

## 総務文教委員会

平成29年度富山市一般会計補正予算、富山市公民館条例の一部を改正する条例制定の件など10件については、いずれも原案のとおり「可決」「同意」した。

### ★連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結の件

**委員** 各市町村で独自に行っている行政サービスについて、連携中枢都市圏の形成によって、どのようになっていくのか。

**市** 具体的な協議はこれからだが、連携中枢都市圏は、市町村合併のように、行政サービスを一元化、統一化しようとするものではなく、それぞれの市町村が行っている行政サービスの独自性を担保したまま、お互いの強みを生かして弱みを補うということが、基本的なスタンスである。

**反対討論** 圏域全体の将来のビジョンが何も決まっていない、また、市民への説明や周知、意見集約が何も無い段階で、本市や他の市町村住民の生活を支えるサービスや自治体の将来像を白紙委任するような議決には、責任を持ってない。

**賛成討論** 本市は、日本海側有数の中核都市として、これまでも、広域的な連携や事務の共同処理を行ってきた。今後も本市がリーダーシップをとって、他市町村と連携しながら、圏域全体の産業、経済等の発展に向けて、しっかりと取り組んでほしい。

**結果** 原案のとおり可決した。

### ★五福小学校・大広田小学校調理等業務委託費

**反対討論** これまで民間委託した小中学校での十分な検証が必要である。学校給食は子どもたちの命を育む大事な仕事であり、十分な調査や検証がないまま、さらなる民間委託の拡大に賛成することは、議会としての責任が問われる。

**賛成討論** 民間委託について、校長先生をはじめ、いろいろな方に意見を伺ったところ、味や質に本当に満足しておられ、評価も高いことから、民間ならではの専門的な技術や知識を生かして、効率的に安心・安全な給食が提供できている。

**結果** 原案のとおり可決した。

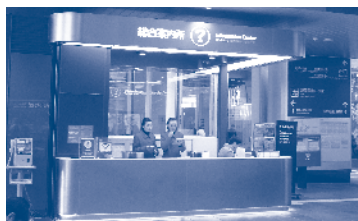
## 商工農林水産委員会

平成29年度富山市一般会計補正予算1件については、原案のとおり「可決」した。

### ★富山駅総合案内所の運営

**委員** 当案内所での観光・交通案内業務にかかる年間委託事業費2,900万円の内訳はどのようになっているのか。また、英語、中国語以外に、韓国語などでの対応を新たに検討する計画はないか。

**市** 本事業費の内訳は、主に人件費であり、常時3名の職員を配置する予定である。また、韓国語への対応については、県と検討中である。



富山駅総合案内所

### ★花き振興対策事業

**委員** 花き振興対策の今後の展望について、どのように考えているのか。

**市** 花きの生産が減少してきている中、新たな取り組みとなるチューリップ生産には期待している。その栽培過程の中で行われる花摘み作業では、地域の方々や保育園児などが参加することで、地域への栽培普及や「花育」についても効果が期待される場所であり、支援していきたいと考えている。

## 厚生委員会

平成29年度富山市一般会計補正予算、富山市介護保険事業特別会計補正予算など4件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

### ★公立保育所における給食調理業務の民間委託事業

**反対討論** 過去の衛生管理等調査を確認すると、民間事業者の調理員は基本的な衛生管理を実践していなかったのではないかと。また、保育所長を通して調理業務従事者に指示する指揮命令系統について対応していない保育所があるように見受けられる。

**賛成討論** 本事業は27年度から実施されており、この間、食中毒や異物混入などの事故は起きておらず、給食の質や味についての苦情もない。市が、指導を強化すべき部分はあるが、事業自体は妥当である。

**結果** 原案のとおり可決した。

### ★エゴマ国際展開推進事業費

**委員** エゴマの国内での販路や市場規模等が不明確である中、市長がエゴマのグローバルブランド化を目指すため、イタリアを訪問する意義は何か。

**市** 市長がイタリアで、「日本産食材サポーター店」認定制度への働きかけや、エゴマに関する情報発信・PRなどのトップセールスを行うことで、エゴマの付加価値やブランド力が高まり、特産品としてのイメージアップが図られ、その効果として、国内での需要がさらに高まることにつながると考えている。

## 建設委員会

平成29年度富山市一般会計補正予算、富山市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定の件など4件については、いずれも原案のとおり「可決」した。

### ★「おでかけ定期券」を、より利用しやすい制度に変更することを求める請願（継続審査分）

**市** 6月定例会の後、富山地方鉄道株式会社と再度協議をしているが、時間制限をなくすことや、市内のどこでも利用ができるようにすることについては、事業収益の圧迫につながるから、交通事業者の理解、協力が得られない。また、更新時に必要となる1,000円の負担金については、受益者負担の観点からも適切であると判断しており、見直しは考えていない。なお、交通事業者では、運転免許証の自主返納者を対象に公共交通の運賃が半額となる割引サービス等を始めており、このおでかけ定期券事業との組み合わせで、公共交通を利用してもらえればと考えている。

**委員** 交通事業者の理解が得られないのであれば、本事業の見直しは不可能であると考えているが、市全体の公共交通の在り方について、もう一度考える必要があるのではないかと。

**市** 本事業は、中心市街地の活性化という目的や、交通事業者の理解により成り立っており、利用者にとって、より分かりやすくするために、継続して見直しをしていくが、事業そのものを大幅に改善することはできないと考えている。しかし、交通や福祉の観点から活発な議論を行うことで、市全体の公共交通の改善や利用促進につながるものと考えている。

**結果** 不採択すべきものと決した。



おでかけ定期券



まちなかを走るセントラム